



発行 公益社団法人ふくしま被害者支援センター
〒960-8002 福島市森合町 14-6 第三福島トヨタビル 2F
事務局 TEL&FAX 024-533-7830

理事長に就任して：課題と展望

理事長 生 島 浩
(福島大学大学院教授)



去る9月20日に開催されました理事会及び総会におきまして、岩崎稠理事長の後任として理事長に就任いたしました。岩崎先生は、そのわずか1か月後、10月19日に満76歳にて永眠されました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。平成19年に初代理事長に就かれ、本県精神科病院協会会長として精神医療にとどまらず、県立大笹生養護学校医、県警少年カウンセリングアドバイザー、保護司選考会委員など障害児教育から刑事司法に至るまでの幅広いご活動は、被害者支援のネットワーク拡充にどれほどの力になったか言い尽くせません。11月23日に行われた「お別れの会」に参列いたしましたが、その優しい笑顔のご遺影に本センターの発展を固く誓ってまいりました。

設立5年目を迎え、公益社団法人となって、組織的には整備が図られつつある本センターの大きな課題は、暴力に限らず性被害への的確な対応です。治療、カウンセリング、告訴の手助けなど必要な支援が一ヶ所で受けられる「ワンストップ支援センター」の設置が望まれます。しかしながら、全国でも、北海道・東京・大阪などの5都道府県にはすでに開設されていますが、財源の手当がないことが大きな壁となっている現実があります。

本県でも、今年の6月に「性犯罪被害者支援における連携と協力に関する覚書」が、県警本部・県産婦人科医会、そして本センターとの間で結ばれています。また、「寄付型自動販売機」の設置など、安定的な財源確保を模索しているところです。11月17日には、県文化センターにおいて「性暴力等被害者支援セミナー」を県警との主催で開催し、関係者の機能連携が始まり、支援の実効を上げる努力を言明する機会となりました。

最後に、理事長としての課題と展望を述べます。支援対象の拡大と深まりに伴い、これまで以上に関係機関との連携強化が不可欠となりますが、一方でプライバシーの保護が大きな課題となります。被害関係者が連携先である可能性も必然的に増大し、「相談して秘密は漏れないのか」との懸念を抱かれる事態が危惧されるのです。

副理事長の後任には、臨床心理士・精神保健福祉士である酒井芳子氏(大原総合病院附属清水病院)に就任いただきました。性犯罪被害など重大・深刻な事案に的確に対応するための研修など、支援体制の充実を図るべく、特にご尽力をお願いしております。小職も、11月7日に支援員研修の講師を務めましたが、継続的に専門研修を実施してまいります。ボランティア精神に支えられた民間組織である利点を十分に活かしつつも、重大・深刻な事案を取り扱う専門機関であるという自覚を再確認しなければなりません。このような課題を克服してこそ、真の被害者支援を展開できるものと確信しています。

皆様方の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

～「性暴力等被害者救援ネッ

性暴力等被害者支援方部別研修会の開催

当センターでは、性被害者の心身の負担を軽減し、被害相談、医療及び各種支援活動が円滑かつ効果的に受けることのできる支援ネットワークの構築に向け、昨年11月、県警察主導のもと県産婦人科医会とともに「三者連絡会」を立ち上げ、本年2月県当局も含め「四者連絡会」とし、活動を開始しました。本年6月には「性犯罪被害者支援における連携と協力に関する覚書」を締結しました。この締結に基づき、産婦人科医師、看護師等を対象に、性暴力等被害者支援のための研修会を開催しました。



県北方部研修会状況

研修会は、本県の広域性を踏まえ、県北方部(福島市)、会津方部(会津若松市)、いわき方部(いわき市)及び県中方部(郡山市)の4方部に分けて開催しました。

県北方部での研修会は10月7日(日)福島市内ホテル辰巳屋で開催され、県産婦人科医会の幡研一会長の挨拶の後、講師として医療法人社団向日葵会まつしま病院看護師長の小竹久美子さんをお迎えし、「性暴力被害者支援における医療従事者の役割」をテーマとした特別講演が行われました。

また、県警察からは、県民サービス課被害者支援担当補佐から「警察における被害者支援の取り組み等について」、捜査第一課性犯罪捜査指導係長から「証拠採取要領等及び捜査員等との連携等について」、それぞれ説明が行われました。

更に、県産婦人科医会常任理事の野口まゆみ氏からは、社団法人日本産婦人科医会において監修されました「産婦人科医における性犯罪被害者対応マニュアル」及び「性犯罪被害者診療チェックリスト」について説明が行われ、最後に小竹久美子さん及び説明担当者と参加者による活発な質疑応答が行われ盛会の内に終了しました。



県北方部・小竹久美子講師の講演風景

各方部の研修会は、会津方部(会津若松市)が10月11日(木)、いわき方部(いわき市)が10月12日(金)、県中方部(郡山市)が10月28日(日)に、それぞれ開催されました。なお、4日間の研修期間中、医師64人、助産婦27人及び看護師45人の医療関係者が参加、当センターからは専務理事以下16名の支援活動員が参加し、聴講しました。

当面、平成25年中の運用開始を目標に、関係機関との連携を密にし、ネットワーク構築に必要な施策を進めていきたいと考えております。

研修会に参加して

性暴力救援センター・東京で医療・相談・法律等の相談の支援を実践している小竹久美子氏を招聘しての研修会は、福島でも今後継続して連携して被害者支援を行う上で大変有意義でした。

近年、性暴力(性犯罪)に対する国民の意識(被害者への誤解と偏見)も変わり、裁判員裁判では加害者に重罪を科していきます。しかし、被害者の多くは、恐怖と屈辱と混乱のなかで誰にも相談できずに一人で悩み、苦しんでいます。心身の回復には、できるだけ早く医療的、心理的な治療を受けることが大切です。時間が経過すると心的外傷は深くなり、日常生活(学業・仕事・人間関係など)に支障をきたし、将来に希望を持てなくなります。性暴力は、人間の尊厳を脅かす卑劣な行為です。安全・安心して生きる権利を侵害します。私たち支援員は、被害に遭われた方がゆっくり心身の回復が図られるように、本人の意志を尊重し寄り添ってまいります。また、家族の方々の支えになりたいと考えています。(60歳代女性支援活動員)

10月12日、いわき市において研修会が開催されました。

約40名の医師、看護師の方々の中に混じって「性暴力被害者支援における医療従事者の役割」と題するDVD上映と、警察における被害者支援の取り組み、そして証拠採取要領等及び捜査員等との連携等について研修を受けました。

DVDで特に興味深かったのは、職員研修を通して自分の職責意識の向上を図っているということ、医療機関が継続するため必要なことに的確に対応しようとしていること、「これだけはやらない」6か条というタブーを作り被害者に配慮した対応を心がけていることでした。

性暴力等の被害者は女性が多いことから、被害者支援活動員といえども、男性が関わることは非常に難しいと思います。が、医療機関での取り組み等について理解を深めることができ、有意義な研修となりました。(50歳代男性支援活動員)

トワーク」構築に向けて～

大切なあなたを支えるために～「性暴力等被害者支援セミナー」を開催～

今回のセミナーは、同じく「性暴力等被害者支援」をテーマとして6月に開催した「支援の輪を広げるつどい2012 STAND」～性犯罪被害者の声を聴いて下さい～に続くイベントであり、特別講演とパネルディスカッションの二部構成により開催しました。



中島幸子講師の講演風景

第一部では、DVコンサルタント・NPO法人レジリエンス代表の中島幸子さんが、「性暴力・その後を生きる」をテーマに、女性に対する家庭内暴力(DV)等について講演し、「自分の過去は変えられないが、どう捉え直すかで、今の自分にもたらす影響を変えることができる。」と話し、一人で抱え込まずに信頼できる人に打ち明けることが大切であることを訴えました。

また、第二部では、当センター理事長である生島浩福島大学大学院教授をコーディネーターに、パネリストとして野口まゆみ県産婦人科医会常任理事、富樫文子県女性のための相談支援センター専門保健技師・生活指導員、神尾直子県警察県民サービス課心理カウンセラー及び当センターの廣木康二専務理事が参加し、性被害や相談事例等について意見を交わしました。



パネルディスカッションの状況

～参加者の反響～ 「セミナー」の参加者からは、次のような感想が寄せられました。

- 警察で性暴力被害者への対応をしていることを知り、警察という場所が「大丈夫なんだ」「安心なんだ」ということを被害者や支援者などに伝えたいと思った。性暴力被害者支援をする場がきちんとあることをもっとアピールすることも大切だと思った。
- 県警等が取り組んでいる産婦人科医等との連携は性暴力被害者にとって大変意味のあることであるし、本人の意思を尊重する体制もとられていると思った。こういった取組を継続することで、これまで表面化しなかった事件なども早期に把握できるのではないかな。
- 被害者を支援するには関係機関の横の連携が大切だと感じた。被害者の方が、周りが支えているということを実感できるような支援を社会全体でやっていくことが必要だと思った。
- 今日話を聞いて、自分が性虐待を受けたトラウマがわかり始めた。これまで受けた性被害は、身体的外傷はなかったので自分で被害者と気づけなかった。人が人として大切にされる世の中になって欲しいと思った。
- 世の中にはたくさんの悩みを抱えた被害者が数え切れないほどいて、誰にも相談できずにいることを改めて知った。被害者にとって信頼できる存在となって、支援活動をしていきたいと強く思った。
- 性暴力を受けた生徒がいて、一見元気そうに見えるが時々とても暗い顔をする。どんな支援ができるか悩んでいたが、中島さんの話を聞いて「あなたは大切な子だよ」と今まで通りのメッセージを続けていくことが大事であるということが再認識できた。

セミナーに参加しての感想

大変心ゆさぶられ、心に重く残る講演でした。はじめは静かな講義から……熱弁に圧倒されながら聴いていました。中島先生は立派に立ち直り、その事件を元にいろいろ学ばれ、世界を股に掛けて活躍していることも同じく感動しましたが、中島先生の心の片隅には、まだほんの少しトラウマの現象が残っているのではないかなと思ったのは私だけだったのでしょうか。それだけに、性被害を受けた方々の心は、私たちには計り知れないものがあります。

中島先生のように、そのことをバネにして生き方を見いだせる人は、果たして何人いるのでしょうか？ どれだけの人が、トラウマの現象から脱出できずにいるのでしょうか？ それを支えて差し上げることが、私たちの責務であると痛感しました。そのために、沢山あるカウンセリングの技法を身につけなければと、あらゆる方向に目を向けた学びが必要であり、それが実践に繋がっていくと感じました。

(60歳代女性支援員)

他会場の国民的ヒーローショーに圧倒されながら始まったセミナーも、多くの方に参加いただきました。

講師の中島さんには、犯罪被害について、一人ひとりがどれほど無関心で誤解や偏見を抱きながら生活しているかを平易な説明で実感させていただき、第2部では、被害者に接して支援している各機関の活動周知と、より一層の連携を推進する契機となりました。

セミナー終了後、参加者から「これからは、もっと人のために生きていきたい。」とお言葉を頂戴しました。聴講された方一人ひとりが、多くを感じ、考えさせられたセミナーであったと実感するとともに、講演・広報活動の重要性と課題を痛感しました。今後に活かしていきたいと思います。

(20歳代女性支援員)

犯罪被害者支援活動のパートナーを募集しています!!

～寄付型自動販売機用オリジナルデザインを決定～

認定NPO法人全国被害者支援ネットワーク、日本財団が推奨し、進めている寄付型自動販売機は、売上金の一部を被害者支援活動のために寄付をすることのできる自動販売機であることから、当センターにおいても、支援活動に必要な経費を確保するための重点事業の一つとして推進しています。

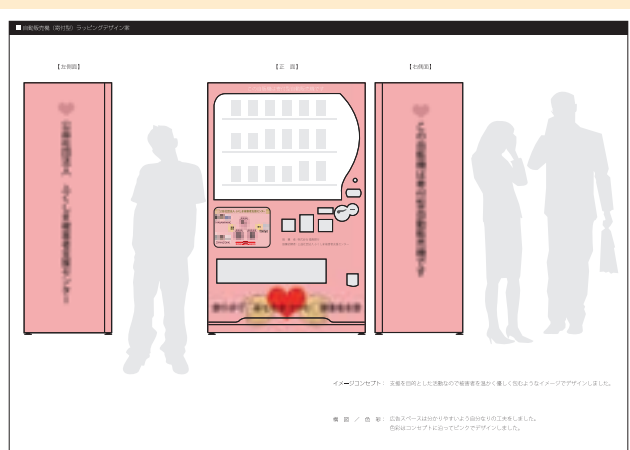
そこで、寄付型自動販売機の「広告スペース」及び「ラッピング」について、本県オリジナルなデザインとしてはどうかということから、郡山市内の専門学校学生を対象にデザインを募集しました。その結果、国際アート&デザイン専門学校及び郡山情報ビジネス学校から合わせて36点の応募がありました。

審査会は、10月5日、両学校の教官、県警察本部県民サービス課被害者支援室長及び当センター専務理事以下が審査に当たり、優秀作品4点が選ばれました。

自動販売機の設置希望者は、選ばれた下記の4作品の中から自由に作品を選び「寄付型自動販売機」の広告スペースデザイン及びラッピングデザインとすることができます。

犯罪被害者支援活動を応援する「寄付型自動販売機」は、企業・団体による社会貢献・CSR活動に役立つものと考えておりますので、設置のご検討を切にお願いいたします。

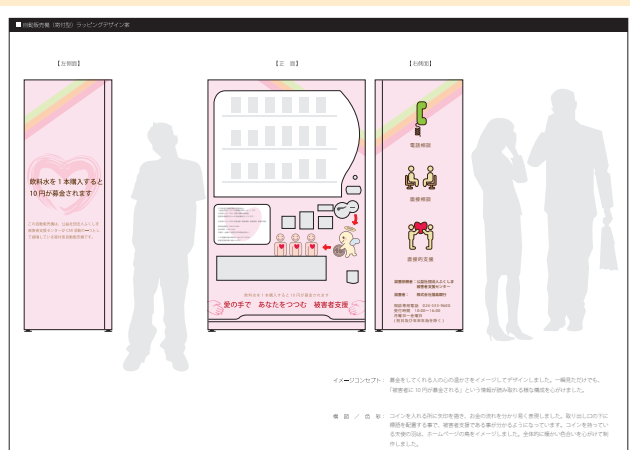
なお、この「寄付型自動販売機」は飲料水1本につき10円が被害者支援活動に寄付されます。



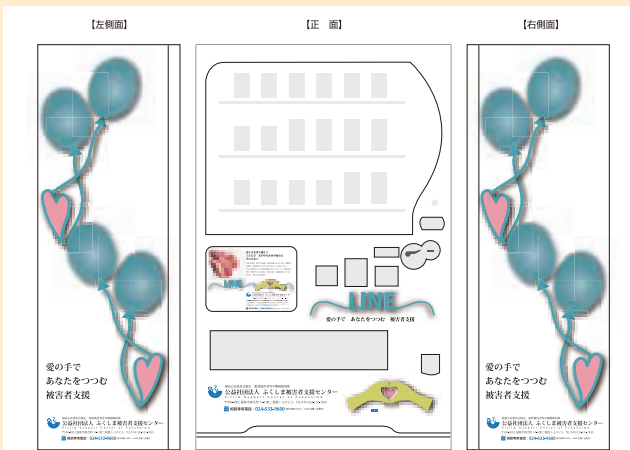
国際アート&デザイン専門学校
～芳賀加奈さんの作品～



国際アート&デザイン専門学校
～佐久間将太さんの作品～



国際アート&デザイン専門学校
～相原果林さんの作品～



郡山情報ビジネス専門学校
～岩井仁美さんの作品～

県警察、福島大学吹奏楽団の協力を得て被害者支援キャンペーン ～「犯罪被害者週間」における街頭での広報・募金活動～

「11月25日から12月1日までの一週間は、地域の皆様一人ひとりが犯罪や事故の被害者、そのご家族・ご遺族の方々のために何ができるかを考える“犯罪被害者週間”です……。」

11月25日(日)のJR福島駅東口広場は、久しぶりに青空が広がり、太陽が温かい日差しを投げかけているなか、当センター支援員のほか県警察県民サービス課被害者支援室員、福島警察署員及び福島大学吹奏楽団員の総勢50名による「被害者支援キャンペーン活動」を行いました。

警察の方々は、通行する人々に広報用チラシ、ティッシュペーパーのほか認定NPO法人全国被害者支援ネットワークから送られた広報グッズを配布しながら被害者支援への協力を訴えました。また、吹奏楽団の方々は、オーメンズオブラブ、ディズニーメロデー等の親しみのある曲を2回(1回30分)にわたり演奏を行い、多くの通行人の皆さんが足を止め演奏に聴き入る姿が見られ、キャンペーン活動に花を添えました。

センター支援員は、携帯用拡声器による被害者支援への呼び掛け、「全国被害者支援基金」設立に向けた街頭募金への呼び掛けを行うとともに、広報用チラシ等を配布し協力を訴えました。

街頭募金活動につきましては、その後の犯罪被害者週間の期間中、JR福島駅前及びJR郡山駅前において活動を継続し、合計41,125円の浄財が寄せられました。ご協力をいただきました皆様には、心より感謝を申し上げます。

なお、寄せられました浄財は、「全国被害者支援基金」設立の一部として、認定NPO法人全国被害者支援ネットワークへ送金いたしました。



福島大学吹奏楽団の演奏風景



街頭広報活動風景

中・高校生等 8,105 名に「命の大切さ」を訴える！

平成21年度からの県警察との共催事業である「被害者に優しい“ふくしまの風”運動」の一環として、県内の中学校、高校及び大学校を対象に「命の大切さを学ぶ授業」を開催しています。

平成24年度は、被害者のご遺族等を講師にお迎えし、これまで中学校21校で7,179名、高校4校で720名及び大学2校で206名、計27校で8,105名に「命の大切さ」を訴えてきました。当センターでは、支援活動員が講師の方々の付添支援活動を行っております。



只見中学校での講演～岡崎照子さんの講演風景～



大越中学校での講演～講演後の絵本閲覧風景～

「被害者に優しい“ふくしまの風”運動」の趣旨

私達誰もが、いつ遭遇するかわからない犯罪や事故をなくすため、地域全体で犯罪被害者を支え、地域が一丸となって犯罪と対決することが大切です。

そのため、不幸にして犯罪の被害者となられた方々の苦しみ・悲しみを理解し、被害者に優しい風(支援の気運)を県内くまなく吹かせ、犯罪や事故のない安全で安心な“ふくしま”を築こうとする運動です。

寄付金の贈呈式

次の2団体から寄付金の贈呈をうけました。寄せられました寄付金は、犯罪や事故の被害者、そのご家族・ご遺族の方々への精神的支援や病院・裁判所への付添支援等の支援活動の貴重な財源として活用させていただきます。

○ 財団法人福島県自動車会議所からの寄付

社会貢献事業の一環として、財団法人福島県自動車会議所から当センターへの寄付(20万円)の申し出があり、7月20日(金)午後4時から、当センター事務室において贈呈式が行われました。贈呈式には、財団法人福島県自動車会議所からは会長で当センター理事の金子與宏氏、同専務理事の佐々木仁氏そして事務局長の合津功氏が、当センターからは副理事長の澤井功、専務理事の廣木康二がそれぞれ出席して行われました。ご支援に対し心より感謝を申し上げます。



澤井副理事長に寄付金を手渡す
金子会長

○ 福島県民共済生活協同組合からの寄付

社会貢献事業の一環として、福島県民共済生活協同組合から当センターへの寄付(30万円)の申し出があり、11月1日(木)午前9時30分から、当センター事務室において贈呈式が行われました。贈呈式には、福島県民共済生活協同組合からは理事長の渡辺次雄氏、同専務理事の宍戸幸雄氏が、当センターからは理事長の生島浩、専務理事の廣木康二がそれぞれ出席して行われました。なお、福島県民共済生活協同組合からの寄付は、平成20年度から5年連続5回目の寄付金となりますが、継続してのご支援に対し心より感謝を申し上げます。



生島理事長に寄付金を手渡す
渡辺理事長

～皆様方の温かいご支援に支えられて～

次の方々から賛助会員等としての会費、ご寄付を頂きました。心より御礼を申し上げます。当センターの活動は、皆様方の温かいご支援により支えられております。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今期賛助会員等のご紹介(平成24年6月26日から同年11月30日まで)

(順不同、敬称略)

個人											
福島方部											
安倍 義典	安斎 勇雄	酒井 芳子	生島 浩	藤原 正子	澤井 功	阿部 美和	阿部 美和	阿部 正弘	荒井 俊直	荒井 俊直	荒井 俊直
織田 裕美	石黒 智子	石田 修	今泉 満臣	岩淵 敬	遠藤 憲司	大塚 晴隆	大塚 晴隆	大塚 晴隆	大塚 晴隆	大塚 晴隆	大塚 晴隆
木本 允也	小野 昌宏	櫻村 公男	加藤 直樹	金田 和也	菅野 憲紀	菅野 憲紀	菅野 憲紀	菅野 憲紀	菅野 憲紀	菅野 憲紀	菅野 憲紀
佐藤 彰孝	黒江 昌宏	黒江 弓子	黒津 康司	小泉 美ノ助	齊藤 貴志	齊藤 貴志	齊藤 貴志	齊藤 貴志	齊藤 貴志	齊藤 貴志	齊藤 貴志
鳴原 厚	佐藤 淳	佐藤 敬	佐藤 浩一	佐藤 光司	関 清一	関 清一	関 清一	関 清一	関 清一	関 清一	関 清一
高橋 和七	白石 弘一	白鳥 起子	菅野 昭弘	鈴木 美紀夫	寺島 正	寺島 正	寺島 正	寺島 正	寺島 正	寺島 正	寺島 正
野口まゆみ	田代 均	多勢 裕一郎	東原 代里子	土屋 美智子	増子 一公	増子 一公	増子 一公	増子 一公	増子 一公	増子 一公	増子 一公
宗像 正夫	馬場 裕宗	安田 弘二	本名 宗二	幕田 武	渡邊 和也	渡邊 和也	渡邊 和也	渡邊 和也	渡邊 和也	渡邊 和也	渡邊 和也
渡部 学	渡部 義一	遠藤 昭彦	佐久間 隆章	富樫 健一							
福島北方部											
市村 善隆	赤城 英寿	阿曾 勝夫	荒木 則和	安斎 晴夫	五十嵐 公一	池亀 重光	池亀 重光	池亀 重光	池亀 重光	池亀 重光	池亀 重光
梅津 健一	井上 剛郎	井上 俊彦	井上 芳和	今井 博記	今井 充正	岩崎 真毅	岩崎 真毅	岩崎 真毅	岩崎 真毅	岩崎 真毅	岩崎 真毅
押切 恭平	梅津 広司	梅津 浩治	梅宮 洋三	海野 隆司	遠藤 聡	遠藤 聡	遠藤 聡	遠藤 聡	遠藤 聡	遠藤 聡	遠藤 聡
上妻 直樹	小野 貴久	小野 肇	小野 洋佑	笠井 武弘	笠井 明	加藤 正行	加藤 正行	加藤 正行	加藤 正行	加藤 正行	加藤 正行
黒澤 佳正	小野 明弘	菅野 啓子	菅野 健一	菅野 大輔	菅野 大輔	菅野 大輔	菅野 大輔	菅野 大輔	菅野 大輔	菅野 大輔	菅野 大輔
佐々木昇美	香野 洋平	小坂 和之	近藤 正	佐藤 友美	佐藤 友美	佐藤 友美	佐藤 友美	佐藤 友美	佐藤 友美	佐藤 友美	佐藤 友美
白岩 美咲	佐藤 和宏	佐藤 正次	佐藤 隆夫	清野 見一	清野 見一	清野 見一	清野 見一	清野 見一	清野 見一	清野 見一	清野 見一
高橋慎太郎	鈴木 浩二	瀧田 賢治	田村 充	寺島 勇雄	寺島 勇雄	寺島 勇雄	寺島 勇雄	寺島 勇雄	寺島 勇雄	寺島 勇雄	寺島 勇雄
菜花 真一	高橋 雄祐	瀧田 賢治	西條 洋一	西牧 昌宏	西牧 昌宏	西牧 昌宏	西牧 昌宏	西牧 昌宏	西牧 昌宏	西牧 昌宏	西牧 昌宏
晶 信七	仁井田和樹	二階堂正樹	林 勝正	坂内 誠二	坂内 誠二	坂内 誠二	坂内 誠二	坂内 誠二	坂内 誠二	坂内 誠二	坂内 誠二
船山 正弘	穂積 隆一	前田 永伯	幕田 守	松沢 勝美	松沢 勝美	松沢 勝美	松沢 勝美	松沢 勝美	松沢 勝美	松沢 勝美	松沢 勝美
武藤 孝則	村上 晋哉	目黒 正徳	持地 孝夫	元内 健	元内 健	元内 健	元内 健	元内 健	元内 健	元内 健	元内 健
山重 俊二	山田 哲也	山田 由香	遊佐 慎之	吉田 弘道	吉田 弘道	吉田 弘道	吉田 弘道	吉田 弘道	吉田 弘道	吉田 弘道	吉田 弘道
渡部 正雄	渡部 昌男										
伊達方部											
横山 弘幸	遠藤 道雄	遠藤 晃成	唐橋 龍男	佐藤 孝之	佐藤 昌知	高橋 義広	高橋 義広	高橋 義広	高橋 義広	高橋 義広	高橋 義広
	渡部 祐治										
二本松方部											
	伊藤 克宏	菅野 将尚	齋藤 喜市	高橋 久子	根本 忠之						
郡山方部											
滝沢 洋一	渡邊 佳子	青池 文彦	渡辺 節子	浅井 嗣夫	小池 葉子	渡邊 典子	渡邊 典子	渡邊 典子	渡邊 典子	渡邊 典子	渡邊 典子
	武田 憲二	樽井 盛雄	千葉 昇	増子 敬	増子 智彰	松本 武	松本 武	松本 武	松本 武	松本 武	松本 武
郡山北方部											
	國分 廣幸	鈴木 昭佐	星 正人	伊藤 昌男	遠藤 昭一						
須賀川方部											
渡邊 征彦	赤城 稔	遠藤 栄作	小野口拓夫	國分 宏子	高木 茂保	田口 満	田口 満	田口 満	田口 満	田口 満	田口 満
白河方部											
	今井 久	柴田 学	白石田俊幸	永崎 光雄	横村 伸夫	吉川 幸雄	吉川 幸雄	吉川 幸雄	吉川 幸雄	吉川 幸雄	吉川 幸雄

石川方面	鬼頭 美鈴	久保木マサ子	佐川 保博	矢内 洋子																
棚倉方面	安津畑輝男	金澤 博信	小林 安雄	齋藤 茂	鈴木 秋子	高橋 伸二														
田村方面	小室 昌充																			
会津若松方面	石井 弘敬 武藤みや子	伊藤 昭 山本 隆子	大竹 隆資 横山 謙治	鈴木 桂子 穴澤 啓	高瀬 淳 吉田 幸代	玉川 和子	長峯 浩	松崎 強	峯岸 正行											
猪苗代方面	桑原 大	菅沼 裕子	鈴木 長年	喜多方方面			阿部 明弘	加藤 勇一	小島 治一	内藤 恒久										
会津坂下方部	荒明 和彦	佐藤 善則	長谷川保子	南会津方面			君島 富子	中村 善則	花見 雄次											
いわき中央方面	大場 純義	小野 開司	國井 善男	合津 長治	齊籐 光位	菅原 裕介	根本 文弘	矢野 慎												
いわき東方面	石田 冴子	稲田 央彦	小野 実	熊田 徳雄	佐藤 敦	南相馬方面			青田 勝則	亀井 勝美										
相馬方面	小針 孝志	神奈川県			鴻巣 堯子															
法人・団体																				
福島方面	(公益)福島県暴力追放運動推進センター 福島県経済同友会 福島県信用金庫協会 (株)ダイユーエイト (社)福島県医師会 東北電力(株)福島支店 福島県レンタカー協会 弁護士法人 プレインハート法律事務所 福島県警察機動捜査隊			(一社)福島県警友会 (助)福島県自動車会議所 福島県弁護士会 (医)西口クリニック婦人科 (株)日産サテリオ福島 (社)福島県自家用自動車協会 福島県軽自動車協会 福島テレビ(株) (株)キャビンプラザ笹木野店				(一社)福島県交通安全協会 (社)福島県警備業協会 福島トヨタ自動車(株) (一社)福島県安全運転管理者協会 川俣地区安全運転管理者協会 (社)福島県自動車整備振興会 福島県自動車販売店協会 福島ヤクルト販売(株) (株)キャビンプラザ島谷野店				(株)東邦銀行 (社)福島県防犯協会連合会 福島県民新聞社 (株)アトリエ・オレンジ 川俣地区交通安全協会 (社)福島県バス協会 福島県二輪車安全普及協会 文化設備工業(株) 安全運転管理川俣地区事業主会								
福島北方部	西根神社 斎藤秀一郎 協同組合県北地区浄化槽管理協会 陽光社印刷(株)			(株)サン・ベンディング福島 福興産業(株) 渋谷建設(株) (株)キャビンプラザ瀬上店				(有)三ッ山製麺工場 (株)倉島商店 マエサン東北農材(株) (株)倉島商店従業員一同				(有)菅野地所 (株)吉田運輸 (有)桜井運送								
伊達方面	伊達物産(株)			高野歯科医院 日野金属産業(株)				医療法人敬仁会中野病院 (有)井上建材				齋藤電設工業(株)								
二本松方面				福島交通(株)二本松営業所				(有)昭和自動車整備工場												
郡山方面	ライオンズクラブ国際協会332-D地区 (株)栄楽館ホテル華の湯			(株)大東銀行 (医)慈主会すがのクリニック 県南祭礼商業協議会				福島県経営者協会連合会 (株)つばめエージェンシー 西部自動車(株)				福島県精神神経科診療所協会 (株)Link ゼビオ(株)								
郡山北方部	本宮地区金融防犯協会			(株)ナックス 本宮地区出身警察官父兄会				宝化成機器(株) 本宮地区防犯協会連合会				東和(株) 森(株)								
須賀川方面	須賀川地区警察官友の会			(株)釜屋				(株)南部自動車学校				神田産業(株)								
白河方面	(株)ヤマシロ 東白商事(株) 中谷地区更生保護女性会			安全運転管理白河事業主会 こちや自動車工業(株) 永野土木建設(株)				(株)兼子組 白河地区安全運転管理者協会 福菱工業(株)				(株)高砂ホンダモーター 白河地区交通安全協会 金澤建設(株)								
棚倉方面	(株)星電設 森本建設(株)			棚倉自家用自動車協会 鈴木運送(株) 八溝マテリアル(株)				(有)フラワー工業 塙厚生病院				(株)シーズ 藤田建設工業(株)								
田村方面				田村地区金融機関防犯協会				(株)鈴船建設				小野地区警友会								
会津若松方面	会津薬品産業(株) (医)晶晴会 (株)小野屋漆器店 高田厚生病院 (有)佐瀬会計事務所			会津商工信用組合 秋山ユアピス建設株式会社 (医)二瓶眼科医院 (助)竹田綜合病院 なるせとみこレディースクリニック 喜多方遊技業組合				会津美里地区金融機関防犯協会 (医)山田整形外科医院 遠藤歯科医院 佐藤内科小児科医院 丸果会津青果(株) 若松遊技業組合				会津美里地区防犯協会 (医)健真会 山口皮膚科医院 扇町渡部小児科アレルギー科医院 (社)会津若松医師会 三菱伸銅(株)若松製作所								
猪苗代方面	榮川酒造(株)			安全運転管理猪苗代地区事業主会 関東水力工事(株)会津支社				猪苗代地区安全運転管理者協会 磐梯清水平開発(株)				猪苗代地区交通安全協会								
喜多方方面	喜多方地区交通安全事業主会			喜多方地区安全運転管理者協会				喜多方地区金融防犯協会				喜多方地区交通安全協会								
会津坂下方部	八二醸造(有)			会津坂下地区安協・安管協・事業主会 南会津警察署警察官友の会				(株)荒海チップ 南会津自家用自動車組合				(株)菊地商会 (有)只見荘								
いわき中央方面	堀江工業(株)			(株)平中央自動車学校				(株)日本海水				常磐開発(株)								
いわき東方面	小名浜製錬(株)小名浜製錬所 堺化学工業(株)小名浜事業所 いわき東署地域課第2班			いわき小名浜ロータリークラブ いわき東警察署地域課一係 第一三共プロファーマ(株)小名浜工場 いわき東地区被害者等支援ネットワーク				磐城通運(株)小名浜支店 (株)大橋 東邦重鉛(株)小名浜製錬所				いわき東警察官友の会 (株)ハニーズ 福浜大一建設(株)								
いわき南方部	常磐共同火力(株)勿来発電所			岩電機工事(株)				(株)福陽自動車教習所				社会福祉法人ハートフルなこそ								
南相馬方面	後藤建設工業(株) 有西武商事パチンコ西武2			伊藤冷機工業(株) 相馬ガス(株)				(株)福建コンサルタント 原町港湾運送(株)				菊池製作所(株)福島工場 (有)桜井自動車商会								
双葉方面	(株)大海商事つばめ広野店			(株)倉伸 (株)東芝				(株)アトックス 富岡地区警察官友の会				(株)コスモさくら警備保障 日立GEニュークリア・エナジー(株)福島第2事務所								
相馬方面				(株)福島県東部自動車教習所				(有)高塚自動車												
岩手県				(株)七福人				宮城県				東日本旅客鉄道(株)総務部総務グループ								

思いやる心があなたにできる

被害者支援の第一歩です。

犯罪は風化しても、犯罪被害者のつらい記憶は風化することはありません。その心の傷の回復には、周囲の人々の理解と共感、そして暖かく見守ってあげることが大切です。

一人で悩まずご相談ください。

(公社)ふくしま被害者支援センターでは

- ◇電話相談・面接相談を行っています。
- ◇裁判所・警察・病院等への付き添いをします。
- ◇犯罪被害者等給付金の申請のアドバイスを行います。
- ◇弁護士会等の関係機関、団体と連携した支援を行います。
- ◇被害者支援の幅広い広報・啓発活動を行っています。
- ◇被害者同士の交流の場(自助グループ)を提供しています。

相談・支援受付時間

月曜日～金曜日

(午前10時～午後4時)

祝祭日、年末年始を除きます。

※面接相談・直接的支援は要予約

相談は無料です。秘密は厳守します。

相談電話

024-533-9600

賛助会員募集中

当センターは、皆様の会費により運営されています。

年会費 ○ 個人…1口 2,000円より ○ 法人・団体…1口 10,000円より

福島県公安委員会指定「犯罪被害者等早期援助団体」(公社)ふくしま被害者支援センター

〒960-8002 福島市森合町14-6 第二福島トヨタビル2F(福島中央郵便局向かい) TEL/FAX 024-533-7830

●当センターは、公益社団法人です。会費を納めたり、寄付をした場合は、税法上の優遇措置があります。

※なお、「ご寄付」については、金額は問いません。

愛の手で あなたをつつむ 被害者支援

突然の訃報でした。前理事長の岩崎稠氏におかれましては、病氣療養中のところ10月19日にご逝去され、去る11月23日にお別れの会が執り行われました。支援員一同、センター設立から公益法人移行までのご尽力とご指導に対し、心より御礼を申し上げますとともに、被害者の方々の心に寄り添った支援活動を継続していくことをお誓いいたします。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

ところで、今年の「犯罪被害者週間」は、11月25日(日)「被害者支援キャンペーン」活動を皮切りに、JR福島駅前、JR郡山駅前での街頭募金活動を行いました。JR郡山駅前では、折しも襲来した寒波と強風のため思うような活動ができませんでしたが、そんな中「バスの発車まで時間があるので手伝わせてください。」と申し出た青年がおりました。一瞬、その申し出に戸惑いましたが、快くお手伝いをしていただきました。お別れをする際に「こういう活動は、誰かがやらなければいけないですね。」と言って去った青年に「爽やかさと暖かみ」を感じました。